

あやか 議会だより

第136号 令和7年11月15日



注目！

2310万円のトイレ爆誕！！

原案可決に議場騒然！？…10

観光ルートマップ「おぢかいどうが」

五両ダキ
「五両揃ってでもみたい」というのが名前の由来。
写真では伝わらない圧巻の迫力。
自然が造り出す芸術作品をご覧あれ。

地ノ神嶋神社
対岸の沖ノ神嶋神社と対をなす日本でも珍しい神社。
その歴史はなんと遠古時代まで遡るのだと。海岸にも降りられます！

野崎島
野崎島

東島
北松西高校

START! (六社神社)

赤浜海岸・公園
“石のレッドカーペット”？！
小値賀島が火山でできた誕生となる海岸。高台の公園からの景色も格別。

観光満足度アップで
関係人口増を狙う！

【地域探究とは】

小中高一貫教育を実践する小値賀町では、児童生徒の「キャリアプランニング能力（※）」を向上させるために町議会と連携した活動を発達段階に応じて行っています。

北松西高校では、「総合的な探究の時間」の中で3年間にわたり生徒たちが「地域探究活動」に励み、研究成果を町議会へ提言しています。

※キャリアプランニング能力「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方について主体的に判断してキャリアを形成していく能力。

根拠がしっかりと書いていて訴える力がある。
計画に留まらず実行に移しており素晴らしい！

地域探究アドバイザー 中島 洋先生

観光満足度に関する論文等も調べました

観光満足度に関する論文等も調べましたが、観光満足度の向上は関係人口の増加につながる可能性が高いことがわかりました。また、関係人口の約2割は移住に意欲があることもわかりました。更に、定住人口一人当りの年間消費額は約125万円である事もわかりました。

後輩からの質問

問観光満足度の上昇が関係人口に及ぼす影響を評価するのに、アンケート調査の数は十分ない。今後、データを蓄積して継続評価していくことが重要と考えている。

私たちには町に 提案します / 北松西高校 3年生 地域探究発表会

日程：令和7年7月25日
場所：小値賀町議会 議場

↑ LIVE 配信されました！

1 島内の主な観光地を結ぶわかりやすい動画を作成すること

2 検索できるWEBサイトを作成してその情報を幅広く発信すること

3 本町の総合計画に追加すること

かつて一万人を超えていた小値賀町の人口は令和7年5月現在では2083人に減少しており、20年後には千人を下回るとの試算もあります。人口減少に伴って産業の担い手不足も問題となつており、本町の様々な課題を解決するには人口増加が必要であると感じています。

そこで本町の主幹産業の一つであり、外部からの新たな人材を確保できる「観光」に着目し、観光満足度の向上にかかる関係人口の増加を目指すことにしました。

小値賀町の人口は令和7年5月現在では2083人に減少しており、20年後には千人を下回るとの試算もあります。人口減少に伴って産業の担い手不足も問題となつており、本町の様々な課題を解決するには人口増加が必要であると感じています。

自分たちに何ができるのかを考えるために、観光客を対象としたアンケートを行いました。その中で、本町の観光に不便を感じている観光客が56名中34名もいました。

特に観光地までの行き方がわかりづらいとの声が多く、町の総合計画では観光の活性化に力を入れるとされていましたが、この現実には大きな問題がありました。

※「おぢかいどうが」とは？「小値賀×街道（ルート）×移動×動画」という、制作した観光ルートマップの特徴を表す4つの言葉をかけあわせた造語です。

そこで本町の主幹産業の一つであり、外部からの新たな人材を確保できる「観光」に着目し、観光満足度の向上にかかる関係人口の増加を目指すことにしました。

「観光」に着目しました。そこで本町の主幹産業の一つであり、外部からの新たな人材を確保できる「観光」に着目し、観光満足度の向上にかかる関係人口の増加を目指すことにしました。

「観光」に着目しました。そこで本町の主幹産業の一つであり、外部からの新たな人材を確保できる「観光」に着目し、観光満足度の向上にかかる関係人口の増加を目指すことにしました。

「おぢかいどうが（※）」で「観光」に着目しました

定期九月会議ッ!

令和7年9月10日～19日まで

1億3293万円増

43億2248万円に

主な内容

ふるさと留学学生寮
改修工事費
5800万円 増

町内公衆トイレ
整備工事
520万円 増

国民健康保険診療所
特別会計操出金
1359万円 増

一般会計 補正予算

令和7年度

国民健康保険	513万円 増	4億5253万円に
後期高齢者医療	340万円 増	6220万円に
介護保険	2021万円 増	3億8721万円に
診療所	1448万円 增	4億4048万円に

特別会計 補正予算

令和7年度



いよいよ12月1日一般公開!!

- 【増額理由】
①天井の補修
②窓枠木製建具の修繕
③祭壇西側部屋にフカシ壁を設置
【補正額】76万円
【総工費】2億4986万円
※千円以下は切り捨て

3カ年におよぶ大規模な保存修理工事も佳境を迎えてます。そんな中、本9月会議において76万円の増額補正が執行部から提出されました。工期への影響が懸念されていましたが、順調に完了しそうです。

最後の補正? 旧野首教会保存工事

役場・総合体育館 改修工事はじまる



腐食が激しい
トレーニングルームの壁

- 県舎改修工事
【金額】6182万円
【工期】150日間

2件の工事請負契約が締結された。ひとつは県舎改修工事、もうひとつは総合体育館改修工事で、いずれも老朽箇所を改修予定だ。県舎はバリアフリー工事も含まれる。総合体育館は何年も雨漏りが続いている、特にトレーニングルームは壁や床板の腐食が顕著だったが、ようやく改修がはじまる。

町内の公共施設が軒並み老朽化し、人口減少も加速するなか、今後の公共施設のあり方を町民の皆さんと議論していく必要がある。

令和7年度

一般会計 補正予算

令和7年度



第1回目 第10回目

定例9月会議を10日間の日程で開催。9月会議は前年度の決算審査のため、通常の定例会議に加え決算特別委員会が設置される。今田委員長のもと、慎重な審査を行った（決算特別委員会の詳細は6～9頁へ）。

一般質問 高校生が傍聴に

本会議では6名が一般質問を行つた。そのうち橋本議員は本紙2～3頁に示した、高校生による地域探究発表の内容を取り上げ、町長の考えを質した。

傍聴席は実際に提案した高校生や先生方で埋め尽くされ、いつもとは違う雰囲気の議場となつた。

巨額の工事費に衝撃 公衆トイレ整備事業

一般会計補正予算では、公衆トイレ整備事業（当初予算1790万円）において、520万円の増額補正が執行部から提案された。厳正な審査の末、賛成多数で可決された（詳細は10～11頁へ）。

令和2年度から本格始動した「小値賀町ふるさと留学」も今年で5年目を迎える。

令和3年度からは最大12人が入居可能な「ちかまる寮」の運営が開始され、入寮型の留学生の受け入れを行ってきた。

令和6年度からは入寮型の留学生は女子に限定していたが、留学生の受け入れを強化するため、本年度中に男子寮を整備する方針だ。

その整備費として5800万円の増額補正が提案され、議会は可決した。新たな寮の運営には、人手が必要不可欠なため、工事と並行して人材確保が重要な課題となる。



男子寮として改修されるセミナーハウスの一室
全室フローリングに改修予定

男子寮ができます!
ふるさと留学を強化

異次元の物価高
公衆トイレは2000万の時代へ

乱れ飛ぶ質疑！

決算審査【一般会計】

令和7年9月11日から12日まで



森岡 委員

小辻 委員

立石 副委員長

決算特別委員会

今田 委員長

江川 委員

橋本 委員

横山 監査委員

問 総合センター使用料の中には会議室や他の部屋も入っているのか
答 町民ホール、娯楽室、中央会議室等センターの各部屋の合計の使用料となっている。
問 年間8万円は少なく感じる。
答 文化団体の使用料については減額もしくは免除している。

問 狂犬病予防接種の接種状況をしっかりと把握しているか。
答 管理を徹底しており心配ない。

問 敬老祝金の見直しは。
答 節目支給（90歳、100歳など）についてアンケート調査を行ったが、一部修繕が必要なものはあつたが、使用可能との判定だつた。
問 公園の遊具点検の調査結果は。
答 イノシシの被害防止対策を専門家へ依頼する予定はあるか。
答 これまで専門家に依頼したことはない。今後検討したい。

問 防風林の植栽をしているが、なかなか大きくならない。何年くらいで防風林としての役割を果たすのか。
答 確かなことは言えないが、10年以上はかかるのではないか。

敬老祝金の行く末は？

問 資源物販売収入が昨年度より103万円増額となつた理由は。
答 特別養護老人ホームで介護士として就職した方が、年度途中で離職して返還金について、退職の理由は。
問 医療・福祉・介護人材就職支援金返還金について、退職の理由は。
答 鉄くず、スチール缶、アルミ缶等を販売し増額となつた。

問 退職の理由までは聞いていないが、職場環境等が合わなかつたのではないか。

問 狂犬病予防接種の接種状況をしっかりと把握しているか。
答 管理を徹底しており心配ない。
問 パソコンで見ると映像がとても綺麗だが、携帯のような縦型の画面だとインパクトに欠けると思うが。
答 そうした意見も上がっている。今後改善していきたい。

問 町ホームページリニューアル業務委託料が当初予算より大幅に減額になつた理由は何か。
答 プロポーザルで競争入札を行い4社から応募があった。各関係機関から集まつた審査員により審査した結果だ。

問 マイクロ無線による超高速ブロードバンドは、設置当初から速度が非常に遅かつたと聞く。現状はどうか。
答 国の介護報酬が低く、どの福祉事業者でも安定的な事業運営ができるないようだ。

問 パソコンで見ると映像がとても綺麗だが、携帯のような縦型の画面だとインパクトに欠けると思うが。
答 そうした意見も上がっている。今後改善していきたい。

問 空き家の崩れかけたブロック塀だが、通学路の緊急対策措置として来年度予算に計上する予定はあるか。
答 県内のどこの市町村においても、PTAが負担となつてている現状をどう思うか。
問 教育現場で標準化しているICT教育だが、かえつて学力の低下につながるとの研究結果もある。
答 I C T先進国でそうした結果が出ており、従来の紙の教科書へ回帰していることは承知している。

問 学校教員の働き方改革について、業務をできるだけ保護者にやっていく。PTAが働き方改革のネックになっている。
答 原則として経費は所有者負担となるので、予算化の予定はない。

危険なブロック塀は？

問 社会福祉協議会の介護サービスの現状と今後について伺う。
答 納島、大島ともに改善している。
問 マイクロ無線による超高速ブロードバンドは、設置当初から速度が非常に遅かつたと聞く。現状はどうか。
答 そうした意見も上がっている。今後改善していきたい。

問 マイクロ無線による超高速ブロードバンドは、設置当初から速度が非常に遅かつたと聞く。現状はどうか。
答 そうした意見も上がっている。今後改善していきたい。

問 新HPの評判は？
答 プロポーザルで競争入札を行い4社から応募があった。各関係機関から集まつた審査員により審査した結果だ。

歳出関連

歳入関連

決算審査【特別会計】

令和7年9月11日から12日まで



決算審査2日目は西海国立公園指定70周年記念ポロシャツを着用した

課題山積の社会保障… 上下水道料金の値上げは不可避か



介護は島の福祉の最後の砦



離島の病院としては十分に機能している

下水道事業



生きていく上で水は絶対不可欠

問 収支を見ると、一般会計からの補助金と出資金を合わせて約1億3600万円充當している。もはや他会計からの補助なしでは成り立たない状態だが、下水道料金を今後どのように考えているか。成るので、その結果を基に判断したい。

答 下水道事業の経営戦略を今年度作成するので、その結果を基に判断したい。

介護保険事業

問 不用額※が多額である理由は、要介護者、サービス利用者が少なくなったことが主な要因だ。

答 通常、施設介護サービスは要介護3以上から入所するようになっていが、要介護1、2の一人暮らしができる方が特例入所することがある。こういった方々は、要介護3以上の方たちに比べて保険給付費がかなり低く、不用額の増加につながった。また、空き部屋が多いのも影響があつたと見ている。加えて、本町が取り組んでいるフレイル予防の影響で、要介護利用の方やデイサービス、訪問介護利用者が少なくなっていることも要因の一つだ。



介護は島の福祉の最後の砦

国保診療所

問 出前議会で、専門医外来診療で0歳児の検診ができないと聞いたが実態はどうなのか。

答 住民課の保健係事業の0歳児健康診断は上五島病院の小児科の先生を派遣いただいて対応している。出前議会のご意見は把握しており、毎月、長崎医療センターから派遣されている小児科外来の医師に確認したところ、病気でなくとも相談いただければ診療するとの事だ。



離島の病院としては十分に機能している

簡易水道事業

問 未収金の額及び件数については、増加傾向にある。滞納者、未納者は督促等を適切に行っている。

答 下水道事業の経営戦略を今年度作成するので、その結果を基に判断したい。



島民や観光客の足として大活躍

渡船事業

問 はまゆうの備品購入費の予備費充用の理由は。

答 衛星携帯電話のサービスが停止してしまい、急速必要になったので購入した。また、大きな修繕等がいつあるか分からないので、予備費から充用した。

問 国民健康保険税の歳入が、昨年度より大幅に減収になつた理由は。

答 国民健康保険税を減額したため

国保事業

問 国民健康保険税の歳入が、昨年度より大幅に減収になつた理由は。

答 国民健康保険税を減額したため

問 はまゆうの営業収入が大幅な収入減となっている理由は。

答 令和5年度は大島分校の改修工事が行われていたが、令和6年度は工事が終了したので、大きな収入減になつたのではないかと思う。

問 医療給付費が県全体よりも安い理由は。

答 当町の令和6年度の一人当たりの医療給付費は56万6千円ほどで、令和5年度よりも5万円ほど下がっている。

本町は離島なので、都会と病院までのアクセスに大きな格差があり、思うように医療を受ける事ができないのが主な理由と思われる。

後期高齢者医療事業

問 国民健康保険税の歳入が、昨年度より大幅に減収になつた理由は。

答 国民健康保険税を減額したため

町民レクリエーション大会

復活



地区の威信をかけた熱い戦いが繰り広げられた

- 高齢化が進んでおり、地区単位
- 高齢者の方が多いのに出られる競技が少なくつまらない。
- 地区の役員はお世話が大変。

どちらかというと 否定的な意見

- 長縄とび、三輪車の時間が長い。
- 翌日はみんな筋肉痛。
- 職員や開催スタッフの貴重な休日がなくなり気の毒。
- 祭りのあとだったの日程的にきつかった。
- 家族を持つていないと参加しづらい。独身は肩身が狭い。

どちらかというと 肯定的な意見

- 午前中のみか、午後のみのほうが良い。
- キッキンカーが来ていることのあると助かる。
- 高齢者住宅に入居されている方の席は、希望があればもともとその方が住まわれていた地区に座るようにならうか。
- こども園の運動会も兼ねて良いのでは。
- 地区単位だと小さな地区は出られない。
- 参加するまでは億劫だったが、参加してみると楽しかった。
- 特に移住者にとっては地域住民とのつながりを深める機会となるため来年も開催してほしい。
- 箫吹地区で参加できない小さな地区はひとまとめにしては。
- 大会終了後、その声の一部を集めました。
- 参加するまでは億劫だったが、参加してみると楽しかめた。
- 本当に移住者にとって地域住民とのつながりを深める機会となるため来年も開催してほしい。
- こども園の運動会も兼ねて良いのでは。
- 高齢者住宅に入居されている方の席は、希望があればもともとその方が住まわれていた地区に座るようにならうか。
- こども園の運動会も兼ねて良いのでは。
- 地区単位だと小さな地区は出られない。
- グラウンドが広く子供達の顔が見えない。もう少しトラックを小さくしてはどうか。
- 子供達が暇そう。もう少し子供達の競技を増やせないか。
- 皆でお昼を食べるのが好きな日では、お昼を挟むのは良い。
- 競技に出場しない人は来ない。
- 参加する人、参加しない人の二分化が進んだ。
- 女性の意見がないから、お昼を跨いだ開催になつたのでは。
- 競技に出場しない人は来ない。
- 参加する人、参加しない人の二分化が進んだ。
- 今年を最後にしてほしい。
- 農協、漁協や商工会から豪華賞品があればいいのに。
- 風向きに助けられ今年は家畜市場からの臭いがなくてよかつた。
- なんだかんだ好きな人は多い。
- 国際、島内交流が出来てよかつた。
- やって良かった。全町民参加型のイベントは必要。
- 体育館がいい。

介護 及び 北松西高校のこれからについて

「北松西」を
「小値賀」高校に！！

問 本町に暮らす全ての人の幸せ、それが福祉。
答 保険料は納めたが、受けるべきサービスが足りなければ、それが充実する町外の子どもたちの元へ移住する。本町へ移住を募集するその足元で、暮らし続けたい方が、他へ移住する。これでは本末転倒だ。

問 本町を今まで支えた先輩方に遠慮なくサービスを受けてもらいう。そうでなければ、持続可能な町でない。介護福祉にこそ、地域おこし協力隊が必要だ。答 隊員の募集は、その方向で進めたい。

答 個人支援は難しい。事業所経費の負担を軽減し、浮いた財源で人件費に当てる考え方で進める。

問 保険料は払ったが受けたサービスがない

問 先月、県教育委員会と意見交換し、インクルーシブ教育推進や、独自の単位取得に対し理解を得た。

答 その中で、校名変更も、地域や生徒・卒業生が賛成すれば問題ないと聞いた。

問 北松西の校名は、町外の方にとつて、高校が小値賀町にあることが分かりづらく、本町の未来を担う「唯一の高校」という魅力を伝える上でも、機会損失だ。

答 校名を「小値賀高校」へ変更してはどうか。

○ こども園から高校まで
オール小値賀

問 介護高齢者福祉の充実こそ、移住の先の定住に繋がる。地域おこし協力隊を難しく考えず、シンプルに、人手が必要な現場に結びつけてほしい。

答 今後は、仕事や学年とらず、協力隊を募集していく。

模擬公聴会

● 私にも言わせて！

答 校名変更のハードルは高くない。関係者と充分に協議し、理解を得た後は、スピード感を持って進めてほしい。

答 これから北松西が、地域性を生かし、インクルーシブ教育を推進し、みんな一緒に成長できる高校になれば、こども園から高校まで、誰もが安心して通える教育が整う。

答 名称が小値賀高校になれば、こども園、小・中学校から高校まで、一貫性がより高まり、全てが小値賀という名前で結びつき、「幼小中高一貫教育」の形が見えてくる。

答 校名に小値賀の名を有すれば、必ずと一体性が生まれ、共通理解が進み、幼小中高一貫教育の推進力になる。

【 質問を終えて 】

日本国民の40歳以上の義務である、介護保険料を納めるのは当然です。しかし、高齢・障がい・介護などが必要になったとき、受けるべきサービスがないとなれば、何の為に保険料を納めてきたか分かりません。

いくら小値賀が好きでも、生活に必要なサービスを受けられなければ、町外への移住を余儀なくされます。

住み慣れた町で、誰もが安心して暮らし続けることのできる小値賀にしていきたいです。

問 日本中で介護人材獲得競争が激化する中、各事業所での解決は限界だ。

答 団塊の世代が後期高齢者となり、各地で介護需要が高まっている。今後、町民が安心して住み続けることのできる社会を実現するため、町として介護従事者に支援金を

答 介護従事者の方々には心より感謝している。

国・県の活用できる事業の情報共有し、事業所と協議し、支援に向け検討する。

問 以前の答弁では、民間支援は難しいとあったが、少し前進した。

答 事業所支援はもちろん必要だが、個人支援は、一人ひとりに対する町の姿勢が伝わり、募集時のメッセージ性も強く、有利に働く。

実現すれば、志だけで踏ん張る方々によく日が当たる。

● 校名はおぢか高校で良いのでは。



※ここから動画が見られます！

えがわ はるとも
江川 春朝議員

高校生の観光ルート動画の活用について

高校生のアイディアを
政策に活かせ！

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

北松西高校生による「おちかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2～3項参照）。

はしもと たけし
橋本 武士議員



※ここから動画が見られます！

歯科医師不在の対策・対応について

答 現在、医療法人側が医師を

問 高齢者の中には、町外歯科には一人では行けない方もいるので、歯科医師の確保が急務ではないか。

問 子どもに対する医師の体制は安心したが、高齢者の口腔ケアは身体全体の病気に直接する可能性がある。

問 高齢者は、福祉事務所の事業の通りの場で、地区公民館などでの体操や血圧測定を行い、口腔ケア指導をしている。

問 高齢者は歯の治療が増える傾向があり、町外への受診は高齢者や障がいを持つ方には負担が大きい。

この住民の不安を、一刻も早く取り除くよう努力を求める。

特に子どもや高齢者の歯科・口腔の健康には、歯科医師の存在が非常に大きい。

答 子どもの歯科健診については、歯科医師と協議し実施予定である。

高齢者は、福祉事務所の事業の通りの場で、地区公民館などで、心身虚弱回避のための体操や血圧測定を行い、口腔ケア指導をしている。

町外受診は大変だ！
急げ歯科医師確保！

募集の給与50万円は
いくら何でも安すぎます

探している状況であるが、理事と協議し問題解決に努める。

痛くてたまらん！

早く歯医者を探してくれ！

みんな困っている！
どうする歯科診療所

問 6月から歯科診療所の診療がされていない。本町の高い高齢化率を考慮すると、歯科医師の不在は市民にとって時間や経済的にも大きな負担だ。

歯の健康は様々な病氣にも影響する。それを踏まえ、歯科医師不在の問題を町長はどう認識しているか。

そして、本町はその状況に対し、どのような対策・対応で解決するのかを伺う。

答 4月に歯科診療所の理事を訪ね、人口減少、町外歯科医院への受診、また予防策による虫歯減少などの理由から、受診者数・診療収入の減少に繋がり経営状況が悪化したと伺った。

町外通院に要する時間と身体的な負担、交通費の負担増は認識している。



休診中の歯科診療所

歯科診療所は
よく頑張った！

問 歯科診療所は数十年もの間、町民の歯の健康維持に貢献し、赤字経営でも頑張つて続けてくれた。

診療所の医師も重要なだが、これからは、医療法人と協議し本町も経費・人件費に対して協力することで、官民協力して歯科医師募集の条件を改善し、歯科診療所をもう一度復活させるべきだ。

答 公立て歯科医院の開設は難しいが、本町も相応の負担を検討したい。

【質問を終えて】

歯科医師は小値賀町にとってなくてはならない存在ではないでしょうか。

離島であり、高齢化が進む中、佐世保まで通院するのは心身ともに負担が大き過ぎます。

人材不足が叫ばれる中、そう簡単でないことは理解できますが、町民のために一刻も早く歯科医師の確保に努めて欲しいものです。

歯科医師確保は最優先であり、歯科医師募集を本町ホームページへ告知した。本町も歯科医師の確保に努力していく。



※ここから動画が
見られます！

よこやまこうぞう
横山弘藏議員

小値賀港の整備 及び 公営住宅の保証人について



使われていないシェルター通路（手前）

問 高速船利用者の送迎車両の駐車スペースが不足しているので、南東側のレンガ敷スペースを送迎専用の駐車場として活用してはどうか。

答 車両や人の動線、車両の配置など利用者の安全性や利便性の確保を第一に、関係機関と連携しながら町の玄関口にふさわしい空間づくりに努めたい。

答 移動する方向で検討する。

問 福祉の増進だけでなく積極的な移住政策を開拓している本町としても、保証人制度を撤廃すべきではないか。

答 町は離島という地理的・社会的条件のもとで、限られた財源と人員により町営・町有住宅の維持管理を行つていい。

問 滞納家賃や原状回復に伴う費用負担、さらには生活上の

公営住宅は住宅セーフティネットとして福祉的機能を持ち、居住者の生活基盤となっている。本町では町営・町有住宅の入居に当たり原則2名の保証人が必要だが、高齢者、障がい者、ひとり親世帯など保証人の確保が難しいケースもある。

国が平成30年に保証人不要の方針を示したことから、全国の自治体で保証人を求めない仕組みへの移行が進んでいく。

問 条例では保証人については柔軟に対応ができると書かれているが、何か実例はあるか。

答 保証人が2名確保できずの一名だけで入居した人がいる。

問 それであれば初めから保証人は一名と条例を変えていいのでは。

答 条例を変えずに従来どおり柔軟に相談に応じていく。また福祉部局と連携し、入居を希望する方に対するていねいな対応も心掛ける。

度運用のあり方について検討を続けていきたい。

【質問を終えて】

町民の皆さん福祉の増進をめざして一般質問を行い、その後の進捗もできるだけ確認するようにしていますが、せっかく前向きな答弁をいただいたにもかかわらず、なかなか前に進んでいかないことがあります。

自治体の施策は民間に比べて手間と時間と費用が多くかかると言われていますが果たしてそれでいいのでしょうか。

町民の皆さん今の暮らしと未来に向けて、皆で日ごろの一步一歩を大切にしていきたいと思います。

魅力ある玄関口で
観光客をおもてなし！

昨年12月の定例会議で、地域住民の生活の質を維持し、観光客ならびに交流人口の増加を図るための施策について町長の考えを伺った。

特に本町の主要玄関口であるターミナル周辺に関しては前向きな答弁をいただいたものと認識しているが、具体的な変化は確認できないため改めて町の方針と進捗状況を伺う。

問 駐車場の雨除けのアプローチから直線的にターミナルに向かう歩行者が多い。横断歩道を新設し、道路を切り下げてバリアフリーとすべきではないか。

答 改善の必要性は認識しておりますが、施設管理者の県に対して要望を行った結果、今年度対応するとの回答があった。

問 高速船ターミナル周辺が裏口もしくは勝手口のような印象がある。「小値賀へようこそ」といった歓迎の意図を表示等の整備が必要ではないか。

答 ターミナル周辺の利用環境全体の整備を進めることで、雑然とした雰囲気を改めることができると考えている。歓迎の意図を表す表示等についても検討を進めていきたい。

いまだみつひる
今田光弘議員



※ここから動画が見られます！

魅力ある教育・福祉分野の連携策について

目指すべきは！
日本で最も子育てしたい島！

**幼児から高校生までの
魅力ある教育観が必要**

問 「幼小中高一貫教育」に挑戦する考えはあるか。

答 第4次総合計画でも盛り込まれており、取り組む考えはあるが、5歳児検診の結果をもとに小学校と情報共有するに留まっているのが現状。

短期的な人材不足解決の手段として給与増は？

問 全国の調査で保育教諭の離職理由の上位に給与の安さが常に上がっている。

答 保育教諭は町の職員であり、保育教諭だけ給与を上げることは慎重に協議する必要がある。

**「保育園留学」で
小値賀ファンを獲得！**

問 新たな関係人口創出策として「保育園留学」に取り組む考え方はあるか。

答 本町は、自然豊かで土地柄からみても保育園留学に最適な地域である。保育園留学を実施することで、小値賀の魅力発信と定住に繋がる良い施策と思う。受け入れ態勢も含め関係部署と検討したい。

**子どもと大人を
もつとこちやませに**

問 保育と介護という本町が共通して抱える人材不足課題を解決する将来的な構想として、複数の福祉サービス・公営施設や、同じ敷地内で提供することや、子どもや高齢者が、普段の生活の中で触れ合うことができ、生きがいや健やかな成長に繋がる良い施策だ。ただ財源や場所の問題、既存施設の利活用やサービス事業者の考えもあることなので、慎重な判断が必要であり、現時点での創設は考えていい。

答 まずは子育て支援サービスやデイサービスなど、個々のサービスの中でお互いが触れるような取り組みから始めていきたい。その中で、保育や介護人材不足の解決の糸口を見出しができたらと

幼児教育の重要性と、行政施策でもっとも費用対効果が高いのが「教育」であると研究者によって示されている。0歳からの幼児教育も含めた切れ目のない教育観を定め、「幼小中高一貫教育」に取り組むことが、子どもたちにとっても、本町での子育ての魅力を高めるためにも、保育士不足を解消するためにも、非常に重要と考える。

こども園の人材不足は喫緊の課題だ

問 こども園における保育及び食育は、子どもの生涯にわたる人格形成や学習の基礎を培う上で非常に重要。

答 保育教諭の定員割れは、保育の質の低下につながるため、人材不足は緊急性の高い課題と捉えている。

問 人材確保の取り組み状況とその評価は。

答 「医療・福祉・介護人材職支援金」の対象に保育教諭での職員募集、県の合同面談会に年4回出席するなど。採用には至っていないが、問合せは来ており手ごたえはある。



【 質問を終えて 】

「こんなにも自然豊かで、深い歴史があり、文化的で、素朴で人懐っこく、優しく楽しい島民のなかで、元気にまっすぐ育ってほしい！」と思わせるような、魅力ほとばしる教育ビジョンは小値賀だったら描けるし、創れると思います。

既に島にある魅力的な資源をどう活かすか。

新しく創造するのではなく、目の前にあったり、奥のほうで眠っているヒト・モノ・コトを咀嚼・翻訳し、対話することで、手触り感のある深い学びがきっと得られると思います。



要領改訂による北松西高校の指向性について

理想ばかりでは進まない!
現実を直視せよ!

北松西高校の存続にどうつながるの?

北松西高校の存続にどうつながるの?

現在の職員数では対応できなのでは?
（教育長）

答 入学希望者の特性等に応じ、提供可能な合理的配慮等について確認の上、本人・保護者、及び中学校と協議を重ね、受入体制について個別に検討する。
どの程度まで受け入れを拡大するかについては、長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領に基づき選抜する。

遠隔授業の単位認定は不公平感を生み出す!
（教育長）

答 強みである少人数教育のきめ細かな指導による学力の保障と、地域探究を柱としたふるさと教育・キャリア教育を両輪とした取組をしっかりと進め、その強みを魅力に感じる生徒の確保を図ることが重要だと考える。
（教育長）

問 生徒の受け入れを拡大することでの、本町の子供達に影響はないか。
（教育長）

答 対応可能と判断した上で受け入れるので、全ての生徒の学びに責任が持てる状態であり、心配には及ばないと考えている。
（教育長）

一方で、存続には生徒数の確保が重要な課題だが、教育はあくまで子供達一人ひとりの成長を支えるものであり、その根本を見失うことがあってはならない。
（町長）

一方で、存続には生徒数の確保が重要な課題だが、教育はあくまで子供達一人ひとりの成長を支えるものであり、その根本を見失うことがあってはならない。
（町長）

一方で、存続には生徒数の確保が重要な課題だが、教育はあくまで子供達一人ひとりの成長を支えるものであり、その根本を見失うことがあってはならない。
（町長）

一方で、存続には生徒数の確保が重要な課題だが、教育はあくまで子供達一人ひとりの成長を支えるものであり、その根本を見失うことがあってはならない。
（町長）



新企画 第2弾

小値賀町に関係する「ひと・もの・こと」

を議会の目線で紹介する新企画。

今回は、

『角永 貴靖さん』 です！

農業で小値賀の

景観を守り抜く!

A 父の仕事を引き継ごうと思つたから
Q 農業をお仕事にしようと思つたきつ
かけを教えてください。

Q お米以外にはどんなものを栽培されていますか。
A 今はブロッコリーとメロンです。あと
は地元スーパーに卸している野菜を母が
作っています。

Q 農地を守ることは、小値賀の景観だつたり、昔からある風景を守る活動でもあります。

Q 高齢化の進む小値賀の農業において、角永さんの存在は大変希望を感じます。これから小値賀の農業をどう牽引していきたいですか？

積のお米を作付けされています。田んぼの規模はどれくらいあるのですか。
A 私個人が3町6反^(※)です。あとは依頼されて、田植えで5町ぐらい、稻刈りは一町ぐらいです。

Q 今年は米不足の影響もあって、農協の買取額も上がったと聞きます。生産者として率直にどう思いますか。

A 以前と比べ経費や肥料農薬資材関係が倍ほどになっているのに、米の買取金額や小売店の売値は変わりませんでしたが、最近の不作と重なり大幅にアップしました。

小売店は自分たちで価格を上げられますぐ、私達にはそれができません。今後機械化が進むことを考慮すれば、上げる必要はあると思います。

A man wearing a blue polo shirt and a dark baseball cap is crouching down in a greenhouse, focused on tending to rows of small green plants growing in a tray. The background shows the translucent plastic walls of the greenhouse.

ブロッコリーの苗を見る目は慈愛に満ちている

Q 最後の質問です。角永さんには2人のお子さんがいらっしゃいます。もし、将来お父さんの仕事を継ぎたいと言つたらどうしますか？

A 農業に限らず、子供の夢をサポートするのが親です。

自分の子どもだけでなく、誰が継いでも良いように、しっかりと整備して農業の魅力を作つていきたいです。

良いお話しをたくさん聞かせていただきありがとうございました！

(取材・森岡委員)

議衆番号六番
横山 弘藏議員

前号から始まつた新シリーズ「新人じやない議員紹介」。読者の皆さんのが反応が大変気になるところですが、途中でやめるわけにはいかないので、第2弾はじめます！

今回は横山議員です。議員の中では最も長いキャリアを誇ります。そんな横山議員に、本町の未来のために何を考え、成し遂げようとしているのか。その胸中をうかがいます！

昔からよく知つて いる方もそうでない方も、ぜひ最後まで読んでみてください！

Q 横山議員の幼少の頃は素直でみじょかつたでしようが、どんな子でしたか。

A 内気で気持ちを素直に表現出来ない少年でした。どうして議員になれたのか、今でも不思議です。

Q 議員としてトータル何年目ですか。
答　「……」
が、あれば、議員に出ろ！」と咤も頂きました。

A 43歳で初当選し、途中町長選挙で見事に落選。議員としては7期目、27年目です。

Q長年の議員生活の中で、一番良かったことを教えてください。

ありがとうございました！

記入用紙は何でもOK！



ご意見ありがとうございます！ いただいたご意見の一部を紹介。

みんなの意見箱

②診療所に近い駐車場所には、職員は停めないように配慮してほしい。

Ⓐ議会から診療所に伝達済みです。

③役場からの補助金等の振込通知書は発行できないか。

Ⓐ振込口座の通帳に記載されていますのでそちらでご確認ください。

④子どもとフェリー乗船時、子どもが大声を出すのを良く思わない人がいて、ストレスを感じている。何か理解を促すような船内アナウンスなどはできないか。

Ⓐ議会から九州商船へ要望します。

設置場所は3か所あります！

- ①図書館入口 ②ターミナル入口 ③役場入口

令和7年定例12月会議 日程のお知らせ

令和7年12月5日～

詳細日程は後日地区回覧でお知らせいたします。

たくさんの皆様の傍聴をお待ちしております！

小値賀町議会
Facebook



小値賀町議会
YouTube



『ギカイの窓』も開いています！

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

私は、町民の皆さんとの理解を得られるとはとても思えません。

編集委員 森岡 正雄

『2310万円のトイレ』

財政難の小値賀町が作る

私は、本町の『身の丈にあつたトイレ』を作るべきで、2310万円もするトイレは要らないと思います。

修正動議を提出しました。何分不慣れであつた為、ドタバタ劇もありましたが、大変良い経験をさせて頂いたと思います。休憩返上で資料作成に奔走して下さった、山田事務局長と岩坪書記には心から感謝しています。言葉を失うような結果でした。が、私自身、理路整然と、感情に流される事なく、質疑と趣旨説明が出来たと自負しております。

編集後記